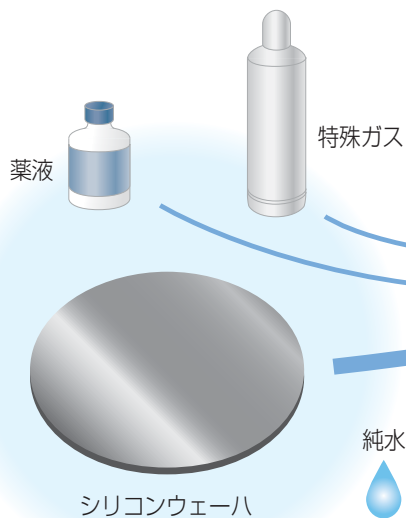


東京エレクトロンの仕事

東京エレクトロンは半導体をつくる装置をつくっています。

半導体の製造とは

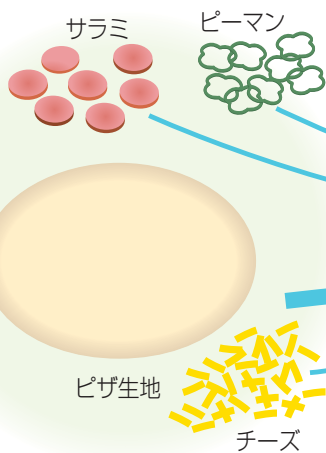
東京エレクトロングループは、シリコンウェーハと呼ばれるシリコンの薄板に、「様々な加工をして半導体をつくるための装置」の開発と製造を行っています。本ページでは、読者の皆様にその工程をイメージしていただきたいと考え、各工程をピザを調理する様子に対比させながらご説明します。



シリコンでできたウェーハとよばれる薄い円盤の上に、右の様々な装置を使って半導体の回路をつくります。

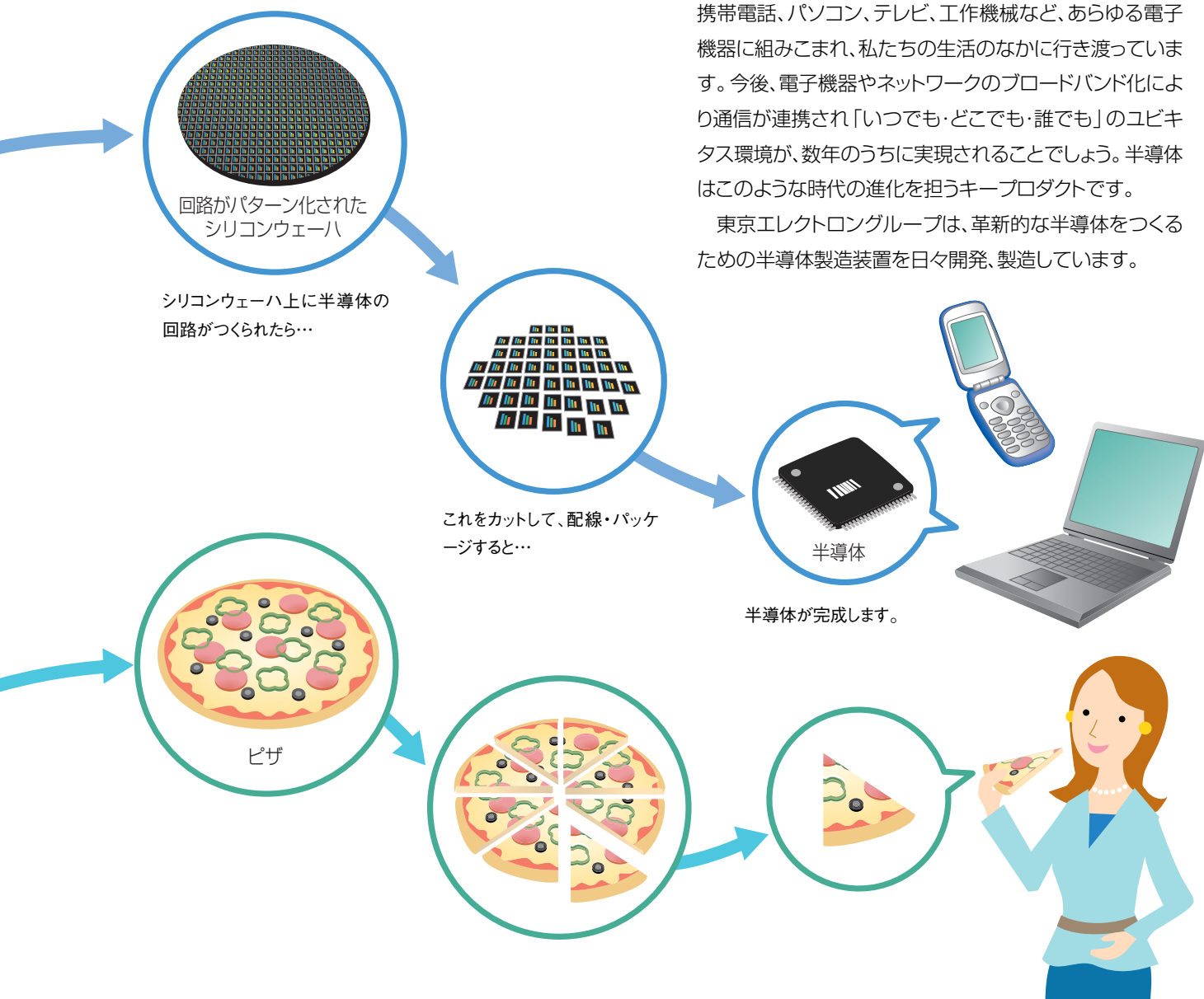
東京エレクトロンの製品

東京エレクトロンはシリコンウェーハを調理する（半導体をつくる）装置をつくっています。



オーブンレンジ

例えて言うと、ピザを調理するオーブンレンジをつくっていることになります。



半導体が使われる製品にはどんなものがあるでしょう

「産業の米」と呼ばれる半導体は、情報化社会の中で、携帯電話、パソコン、テレビ、工作機械など、あらゆる電子機器に組みこまれ、私たちの生活のなかに行き渡っています。今後、電子機器やネットワークのブロードバンド化により通信が連携され「いつでも・どこでも・誰でも」のコピキタス環境が、数年のうちに実現されることでしょう。半導体はこのような時代の進化を担うキープロダクトです。

東京エレクトロングループは、革新的な半導体をつくるための半導体製造装置を日々開発、製造しています。



東京エレクトロングループはほかにもこんな仕事をしています

当社グループでは、半導体製造装置のほかにも、FPD(平面ディスプレイ)をつくるための装置を開発、製造しています。また、半導体などの電子部品(東京エレクトロデバイス(株))およびインターネットテクノロジー機器(コンピュータ・ネットワーク部門)ビジネスも当社グループの大きな事業の柱となっています。